

第九回福崎町柳田國男ふるさと賞 小学生高学年の部 受賞

# 田原地区の小字(いずむ)とひん

田原小学校六年 田 畑 駿



## ◆『小字』について調べたきっかけ

多くの住む田原地区は、辻川や田尻など、さまざまな地区に分かれています。その地区の中には小字というより小さな地区のようなものがあると聞きました。それはどのようなものなのか、いくつあるのかなど、興味を持ち詳しく調べてみることにしました。

## ◆小字とは？

小字とは、市区町村の大字をさらに細かく分けた地域のこと。大字は、人びとのくらしのまとまりからなりたっていることが多いのに対し、小字は、田畑や山林のような土地のまとまりを単位として多いことが多いそうです。

田原地区の小字にはどんなものがあるかを調べようと思い図書館に行

きましたが、小字の書かれた地図はありませんでした。そこで役場に聞いてみました。色々調べてもらった結果、農林振興課に小字を記した地図があり、見せてもらえることになりました。

でも、その地図は、持ち出しやコピーが禁止されていたので、4時間かけて地図から拾い上げてメモをしました。

それをもとに作り上げたのが次の地図です。小字の一覧表と一致させながらシールを貼っていくのにも苦労しました。

## ◆小字と漢字

小字の一覧表を見ると、次のような漢字がよく使われていることに気がきました。

- ・ 田や畑
- ・ 田や畑
- ・ 方角（東西南北）
- ・ 地形に関するもの（山や川）
- ・ 位置関係（上下、中、内、裏）
- ・ 面積に関するもの（反）

小字が土地のまとまりをあらわしているということがよく分かりました。

## ◆気になる小字を訪れてみた

また、小字を見てみると、どうしてこんな小字が付いたのだろうと興味を引くものがたくさんありました。そこで、現地に行ってみたらヒントになるものが見つかるかもしれないと思つて取材に行くことにしました。いくつかを紹介します。

### 三四 川ノ上

川と関係があると思つていましたが、予想通り、雲津川がありました。その地域の中では川上にあたるころだと思えます。



### 六八 八王寺

八王寺(子)という地名は全国にあり、八人の王子をまつる信仰の広がりの中で地名として定着していったそうです。



### そこには何もありませんでした

昔は、八王子をまつる祠のようなものがあったのだと思います。

### 九一 境

何の境にある場所か気になって行ってみました。やはり、長目の南端で香寺との境になる場所だと思いましたが。大門地区にも境という小字があります。



### 百 薦渕ノ上

「薦」という字は「こも」と読み、イネ科の植物のことをいいます。「むしろ」の材料になっていたそうです。



昔は水の湧き出る渕に薦が生えていたところだったのでしよう。

### 一三五 狐谷

思った通り、狐が出てきそうな山に面したところでした。



昔は、人をだます狐があらわれた場所だったのかもしれない。今もいるのかな。

一六四  
ミロカ堂

とても小さい範圍の小字。お堂があるのかと行ってみましたが、何もありませんでした。

お父さんの推測では、弥勒菩薩をまつるお堂があったのではとのことです。ミロカがミロカに転じたのかなと思います。

一八九

佐近屋敷

佐近という人が佐近という位の人に住んでいたのだと思います。

屋敷はありませんでしたが、池の中に灯籠が立っていました。何か関係があるのかもしれませんが。



◆大門の「〇〇新開」

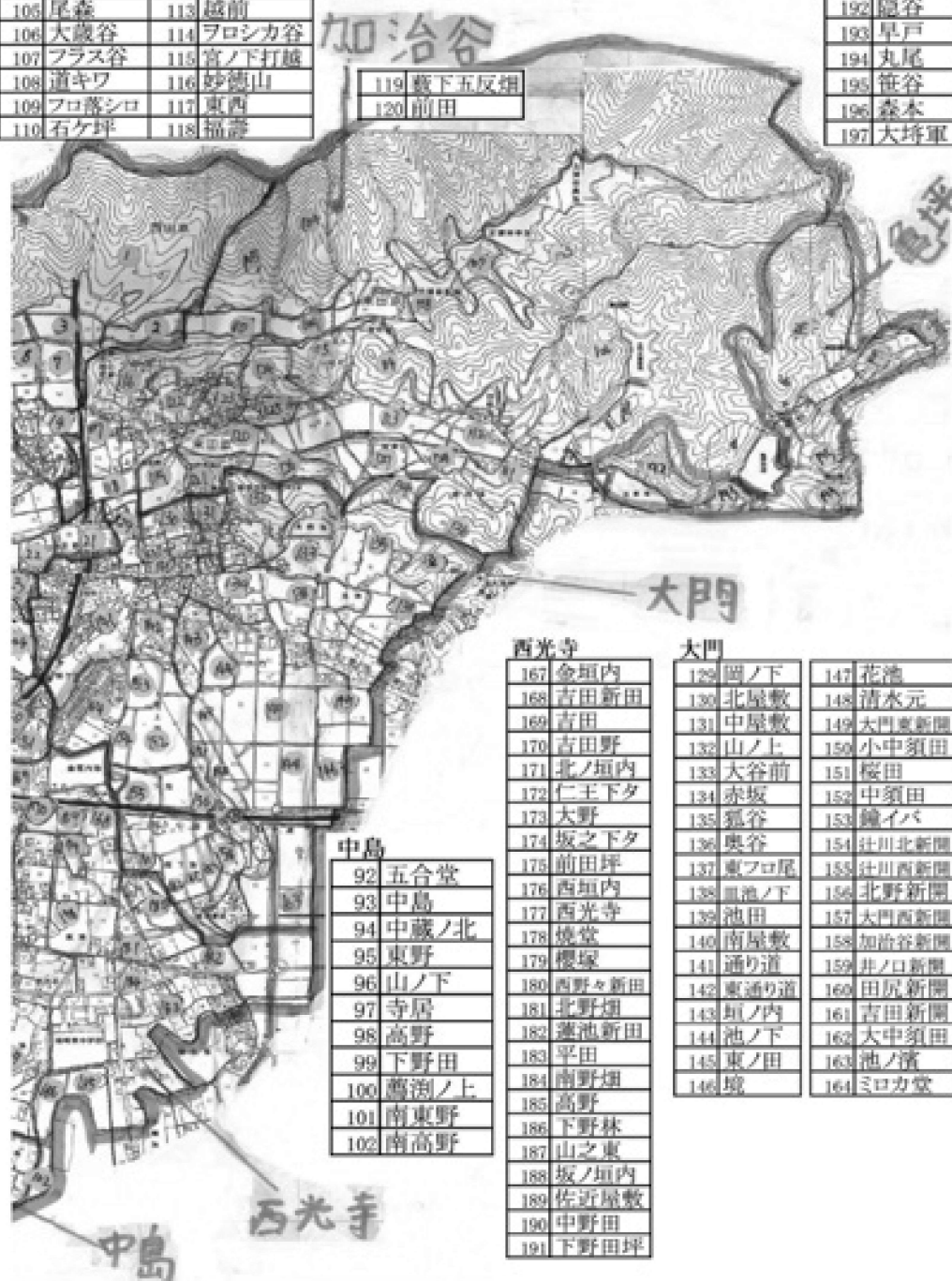
辻川新開・辻川西新開・北野新開  
大門西新開・加治谷新開・井ノ口新開  
開・田尻新開・吉田新開

加治谷

103	北浦谷	111	大谷口
104	カラ谷	112	埴内田
105	尾森	113	越前
106	大蔵谷	114	フロシカ谷
107	フラス谷	115	宮ノ下打越
108	道キワ	116	妙徳山
109	フロ落シロ	117	東西
110	石ケ坪	118	福壽

亀坪

192	隠谷
193	早戸
194	丸尾
195	笹谷
196	森本
197	大塚軍



加治谷

119	藪下五反畑
120	前田

大門

西光寺

167	金埴内
168	吉田新田
169	吉田
170	吉田野
171	北ノ埴内
172	仁王下夕
173	大野
174	坂之下夕
175	前田坪
176	西埴内
177	西光寺
178	燒堂
179	櫻塚
180	西野々新田
181	北野畑
182	蓬池新田
183	平田
184	南野畑
185	高野
186	下野林
187	山之東
188	坂ノ埴内
189	佐近屋敷
190	中野田
191	下野田坪

大門

129	岡ノ下
130	北屋敷
131	中屋敷
132	山ノ上
133	大谷前
134	赤坂
135	狐谷
136	奥谷
137	東フロ尾
138	三池ノ下
139	池田
140	南屋敷
141	通り道
142	東通り道
143	埴ノ内
144	池ノ下
145	東ノ田
146	境

147	花池
148	清水元
149	大門東新開
150	小中須田
151	桜田
152	中須田
153	鎌イバ
154	辻川北新開
155	辻川西新開
156	北野新開
157	大門西新開
158	加治谷新開
159	井ノ口新開
160	田尻新開
161	吉田新開
162	大須田
163	池ノ濱
164	ミロカ堂

中島

92	五合堂
93	中島
94	中蔵ノ北
95	東野
96	山ノ下
97	寺居
98	高野
99	下野田
100	葛洲ノ上
101	南東野
102	南高野

中島

西光寺

不思議なことに、他の地区の名前の付けられた「○○新開」という小字が、大門地区に集中して八か所もありました。

新開とは新たに開くという意味で、開拓地や新田地に付けられることが多いそうです。実際に訪れてみると池ばかりでした。近くには西光寺野台地開発の歴史を説明した看板もありました。

これらの池は台地の上にあります。だから、水を引いたり、水を流したりするといった、池と関係する地区の名前を付けているのかなと思います。



◆まとめ

今回の調査で、田原地区にはとてもたくさんのお小字があることが分かりました。小字はその土地の地形や特徴から名付けられているものが多

<b>北野</b>	<b>井ノ口</b>	<b>田原</b>
1 中ノ谷	24 上ノ畑ケ	39 裏畑
2 堀ノ下	25 神崎	40 宮ノ裏
3 穴田	26 西市場	41 宮ノ西
4 東保音山		42 前畑
5 西保音山	<b>辻川</b>	43 西畑
6 東市場	27 上畷	44 上野田
7 寺山西	28 道北	45 宮ノ前
8 東新田	29 北首田	46 下野田
9 東廣畑	30 中木戸	47 前田
10 西廣畑	31 村西	48 辻ノ前
11 夕口畑内	32 織頭内	49 余茂
12 三栗	33 藤原	50 谷田
13 西新田	34 川ノ上	51 高畑
14 小谷	35 堂ノ前	52 岸本
15 北廣畑	36 藤原	53 東花畑
16 家跡山	37 辻堂	54 西花畑
17 上大明寺	38 高苗	55 大塚
18 下大明寺		
19 北西	<b>西野</b>	
20 西廣畑	56 西野々	
21 向上廣畑	57 岡崎	
22 向下廣畑	58 二反田	
23 堀ノ上	59 下畑内	
165 西木田		
166 中木田		

<b>吉田</b>	60 堀川	67 吉田
61 北西	62 東角	68 八王寺
63 西ノ甲	64 大塚	69 ハツダロ
65 ナコザ	66 丁田	70 川田
		71 前田筋
		72 本通り

<b>八反田</b>	73 東田
74 岸ノ上	75 藤ノ木
76 西ノ畑内	77 神東ノ木
78 前田	79 八反田
80 寺ノ裏	

<b>長日</b>	81 堀田	85 長日	89 西代
82 川原	83 上高イ田	86 下高イ田	90 下野畑
84 北中才	87 南中才	88 大妻	91 境



いと思いますが、全く由来が分からない小字もありました。

長い年月の間で読み方が変わったから漢字が当てられたりして、一見すると意味が分からなくなっていることが理由として考えられます。

小字が名付けられた本当の理由が分かれば昔の福崎町の様子も分かるのだろうと思います。小字には歴史がいっぱい詰まっていると思います。

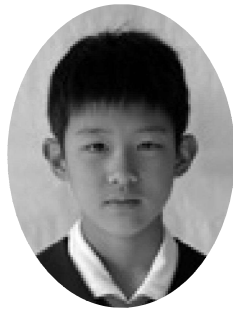
これからも小字の由来を探っていきたいと思っています。小字の由来を考えながら田原地区

の色々な場所を取材していると、何かタイムスリップしているような気持ちになりました。

第九回福崎町柳田國男ふるさと賞 小学生低中学年の部 受賞

# 絶景 春日山城

田原小学校四年 西 牧 宗 佑



## ◆はじめに

ぼくは城が大好きです。家の人に頼んで全国各地の城を見に行っています。天守閣の残る城はカッコいいですが、最近では、城跡にも興味をもってきていました。そんな時、福崎町にも春日山城という山城があったことを聞き、どんな城だったのか詳しく調べてみようと思いました。

## ◆春日山城

まず、春日山城について調べました。図書館には思ったような資料がなく、姫路の城郭資料センターに行くと、係の人に探してもらいました。いくつかの資料が見つかり、春日山城の基本的なことがわかりました。その内容は次の通りです。

・所在地 福崎町八千種

・別名 飯盛山城

・標高 一九七・八メートル

・築城期 建武年間（一三三三〜一三三六）

・築城者 後藤三郎左衛門尉基明

・城主 後藤氏

・形態 連郭式山城

## ◆城主後藤家の歴史

次に築城者の後藤基明と城主の後藤家について、資料をもとにまとめてみました。

後藤基明は、鎌倉時代末期に赤松円心のもとで、足利尊氏による室町幕府の成立に貢献したそうです。その後、赤松氏が播磨の守護職となり、基明も春日山城を構えることになりました。その後、後藤家は播磨地方で活躍しますが、豊臣秀吉の播磨征伐により、一五七八年に落城してしまっています。

約二百年の間、この福崎町に城があったことを知ってワクワクした気持ちになりました。

大まかな後藤家についての歴史は

次の通りです。

- ・藤原利仁の流れをくむ公則が、後藤を名乗ったのが始まり。
- ・鎌倉時代末期、後藤基明は郎等を率いて上京、後醍醐天皇につく。
- ・赤松円心が挙兵し京へ。円心幕下につき、六波羅軍を攻撃する。
- ・赤松氏が播磨守護職となり、基明は、春日山城を構える。
- ・基明は、春日山城主として播州で活躍する。
- ・戦国時代の秀吉の征伐によって春日山城が落城する。（一五七八）

- ・春日山城主基信の弟基国の子（基次）を黒田官兵衛が養育し、後に後藤又兵衛となる。
- ・又兵衛は、夏の陣において伊達政宗の軍との戦いで討死した。

## ◆春日山に築城した理由

春日山城や基明などのことを調べたうえで、現地に取材に行きました。春日山城が作られた南北朝時代の城は、ほとんどが山の地形を生かした山城です。

登ってみて、基明は次のような理由で春日山に城を築いたのだらうと思われました。

- ・急斜面で岩もあって、とても攻めにくい。
- ・頂上から周りを見渡せて、海まで

見え、敵が攻めてきたらすぐに発見できる。

春日山は築城するのにとても適した山だと感じました。

大阪城や姫路城のように、町の中心に築城されるようになるのは織田信長や豊臣秀吉以降のことです。



## ◆工夫された春日山城

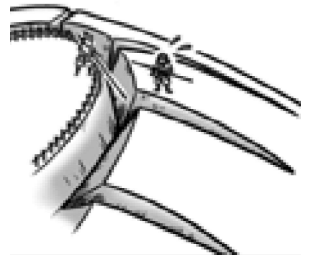
昔の道とは違いかもかもしれませんが、登ってきた道は、道幅は広いけど、馬にはせまそうな、ちよんどのいい広さだと思えました。また、敵にわなを仕掛けられそうなどころもありました。

頂上には食料貯蔵庫だけは案内がありました。戦の時には、食料がとりたくないように食料貯蔵庫に向かう道もよく考えて作られていると思うので、ぼくが登ってきた道は裏道かもしれない。



山頂から観察していると、掘の跡

のようなどころも2か所見つけました。堀と言うと、城を囲んだ水堀を思い浮かべますが、山



城の場合は、山を縦に削って敵の横の動きを封じるためのものです。

また、曲輪（くるわ）の跡らしいものもたくさん見つけましたが、はつきりしたものではありませんでした。

曲輪は、城を区画するもので、石や土でできています。城の中心的な役割をする本丸を守るために、本丸の周りに作られます。敵の侵入を防ぐために工夫して配置されていたはずです。

◆春日山城の想像図

春日山城の取材を終えて、春日山城がどんな城だったかを考えてみることにしました。ぼくの城の知識やこれまで見てきた城を参考にして考えていきました。

春日山城の山頂は二段になっています。低い方の段に曲輪をたくさん作り、そこから敵を攻撃します。

上の段の中央には城の中心となる本丸を置き、周りを二の丸や三の丸

で囲んで本丸を守ります。四方に櫓（やぐら）も建てて、しっかり見張りが下です。こうしてできあがったのが下の図です。

◆まとめ

調べているときに、ぼくのひいおじいちゃん（やぐら）の姓は「後藤」だと聞きました。春日城をつくった後藤家の家紋



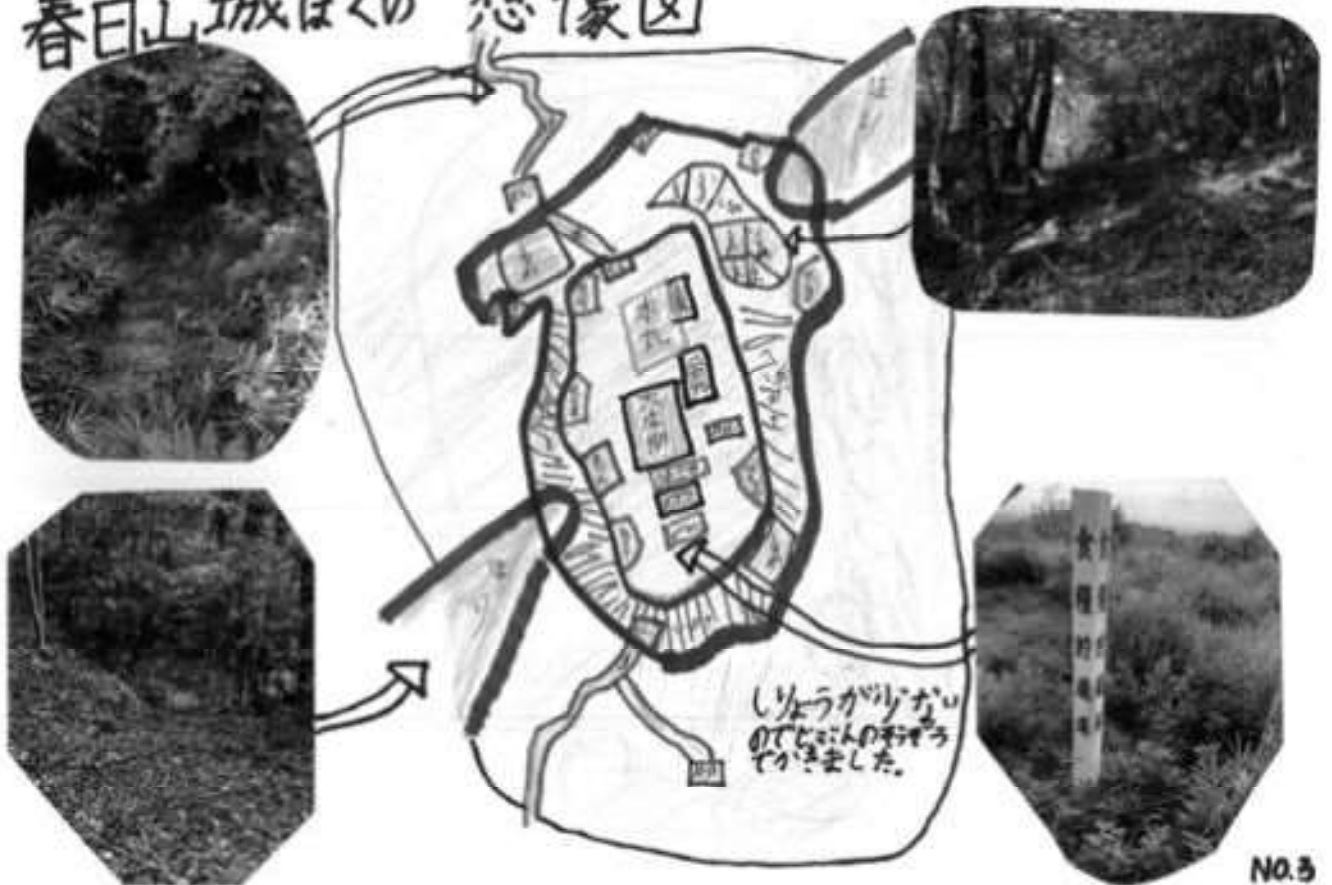
とも同じでした。どこかでつながっていると思うとドキドキしました。

今回、春日山城のことを調べましたが、城好きのぼくにとっては、とても楽しい調査でした。想像図を作るときは、自分が城主になったような気持ちでした。

今回の調査を通して、こんなに近くに歴史のつまった春日山城があることを、もっと多くの人に知って欲しいと思いました。そして、春日山城に登って、春日山城からの絶景を見て欲しいと思います。



春日山城ぼくの想像図



第九回福崎町柳田國男ふるさと賞 中学生の部 受賞

# 新町天満宮について

福崎西中学校二年 岡本 祝子



## 一 はじめに

私が住む新町地区には天満宮がある。新町天満宮には昔から変わらず『なで牛』があったり、梅の木が植えられていたりしている。

新町天満宮の歴史が気になり、ふるさと学習を通して色々なことを調べることになった。

## 二 天満宮について

### ・そもそも『天満宮』とは？

菅原道真（すがわらのみちざね）を祭神とする神社のこと。『てんま

ぐう』や『天神（てんじん）さん』と呼ぶこともある。

道真が参



詣した大將軍社の前に突如マツが生え靈光を放つたと聞いた村上天皇が、天歷三（九四九）年に境内に道真をまつたところからはじまる。

### ・日本で特に有名なところは？

- ★太宰府天満宮（福岡県）
- ★北野天満宮（京都府）
- ★大阪天満宮（大阪府）
- ★防府天満宮（山口県）
- ★湯島天満宮（東京都）

道真への尊敬が深まるとともに、全国各地に“天満宮”が広まった！

『天満宮』の『天満』の名は道真が死後に送られた神号『天満（そらみつ）大自在天神』から来たんだって！

## 三 新町天満宮の現地調査

実際に新町天満宮へ行って写真を撮ることにした。



天満宮の表側



天満宮の裏側

### ・入り口付近にある『狛犬』について

狛犬とは、ライオンや犬に似た日本の獣で、想像上の生物。魔よけとして置かれている。

（口を開けている理由）

よく見ると、右側の狛犬は口をあけているけど、左側の狛犬は口をし



右側の狛犬



左側の狛犬

めている。この口元は、「阿吽（あうん）」の形を示している！

「阿吽」の「阿」は口をあけて、「阿吽」の「吽」は口をしめて発音するから、口の形に違いがある。右の狛犬の台座の「奉」と左の狛犬の台座の「献」で「奉献」と読める。↓神様にたてまつるという意味！

### ・灯籠について

天満宮の前には一列に灯籠が並べられていた。この灯籠は、文字通り「灯」の「籠」であり、

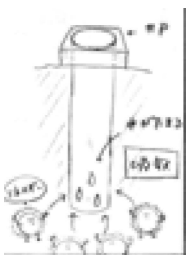
灯が風などで消えないように囲まれたもの。新町天満宮の灯籠は石

でできているので「石灯籠」と呼ばれている。



### ・井戸について

天満宮の右手側には井戸がある。深さは約二メートルほどで、水も入ってなくとても浅い。



〔天満宮などに井戸がある理由〕

日本では古くから井戸は信仰の対象であったため天満宮や多くの神社に井戸がある。井戸の地下水脈は長い年月をかけて地球のエネルギーを吸収していると考えられているため、それを汲みあげて生活用水としていた。昔の人は「井戸には大きなパワー、聖なる力が宿っている」と考えていた。↓そのため、井戸を解体する場合はお祓いされることが多い！



・なで牛について

天満宮の左手側には「なで牛」がある。大きい牛と白い小さい牛の二頭がいる。牛の頭や鼻に十円玉や五円玉がよくのっけていて、牛をなでる人が多くいる。

〔なで牛とは〕



自分の身体の悪いところや具合の悪い部分をなでたあと、その牛の同じ部分をなでると悪いところが牛に移って病気が治るといふまじないのこと。



邪気を人形にうつして祓い、心身を清めるということ。ちなみに病氣や邪気が治るだけでなく幸運にも恵まれるという言い伝えもある。

〔なぜ牛なのか〕

道真が深く牛を慈しんでいたから。

・学問の神様「二宮金次郎」の像について

新町天満宮には学問の神様である二宮金次郎の像もある。

〔二宮金次郎の歴史〕

江戸時代、農家に生まれた二宮金次郎は日々の生活が大変貧しく、仕事をしてお金をかせぎながら勉強に励んだというエピソードがある。



〔二宮金次郎と天満宮の関係〕

二宮金次郎の歴史から分かるように、薪を背負って本を読んでいる有名な姿は、そのような話を反映されているとしている。努力を重ねることの大切さを象徴した「学問の神様」として多くの人々から親しまれ、祀られている。

・梅の花について

天満宮には梅の花が並べて植えてある。これは菅原道真が梅をこよなく愛していたから。

梅の花は一月下旬〜四月下旬にかけて咲くものが多い。



・拝殿に納められた「絵馬」について

拝殿にあがって天井側にはいろいろな絵馬が納められている。自分で数えてみると全部で十一枚!!

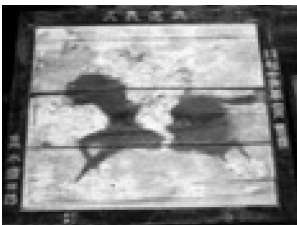
〔それぞれの絵馬の歴史〕

一枚目



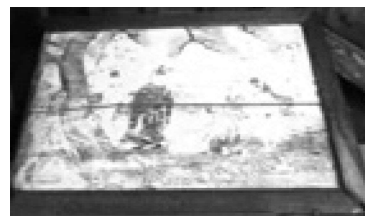
平成23年1月に納められた絵馬。天満宮の世話をした方々の名前が書かれている。世話人は年齢が決まっているそう。一番新しい。

二枚目



馬に乗った人の姿が描かれている。多分道真。昭和14年1月に描かれたもの。

三枚目



すごく昔に描かれているため、絵の色が落ちてしまっている。よく見ると左側に道真?らしき姿の人と、右側に道真の手下らしき人が描かれている。

四枚目



竜の絵。平成元年12月に描かれたもの。描かれた方と奉納者の名前が書かれている。

五枚目



昭和51年5月に奉納された。世話人の名前が書かれている。

六枚目



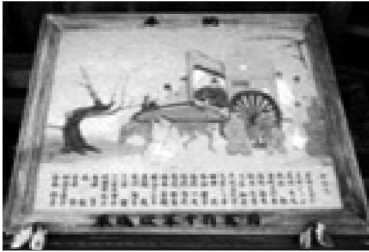
平成27年1月に世話人が奉納されたもの。

七枚目



昭和63年1月に世話人が奉納されたもの。

八枚目



平成4年10月に世話人が奉納されたもの。

九枚目



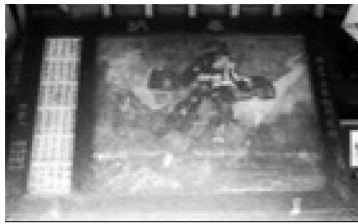
平成21年1月に世話人が奉納されたもの。

十枚目



光で見えなかった。

十一枚目



大正5年10月に世話人が奉納されたもの。

※写真はすべて七月二十九日に撮影した。

#### 四 おわりに

- ・新町天満宮について、調べてみて、絵馬や井戸などの古くから言い伝えられてきたものが多く、天満宮



について多くの歴史が知れてよかったです。

- ・狛犬やなで牛は、もっと調べたら歴史や言い伝えなどを知れると思う。もし調べたり、話を聞いたりする機会があれば、もっと詳しいことが知りたいと思つた。

- ・絵馬を調べたり写真を撮るのが難しかった。

- ・昔から住んでいて、天満宮は家に近いのでよく小さいころ遊んでいたもので、天満宮についてよく知っているつもりでいたけど、いざ調べてみると全く知らなかったことや、詳しくは知らなかったことなどがこのふるさと学習を通して知ることができて自分にとってとてもよい機会となった。

